

風流を守り続ける人々

菰屋地区稚児
岩尾凱斗さん
(四中 2年)



小学3年生のときに、地区の区長さんに勧められて稚児を務めるようになりました。小太鼓や笛をリードする大太鼓の役なので、周りの音を聞き、リズムを考えながら舞や太鼓を披露しています。稚児を初めて務めた年は、笠の重さに耐え切れず気分が悪くなったこともありましたが、経験が増えるごとに、その歴史の長さや重みを感じ、今は伝統を残すことへの責任感や使命感をもって取り組んでいます。ことしの奉納が稚児として最後の務めになります。風流に込められた悪霊退散への思いだけでなく、受け継いできた人たちの思いや、今まで自分を支えてくれた人たちへの感謝も込めて舞たいです。来年からは師匠として、この貴重な経験を次の子に伝え、大人になっても風流を守り継続させることに積極的に貢献していきたいです。



風流節頭保存会
西田道世会長 (73)

今回、風流が国重要無形民俗文化財に指定されたことは、地域や風流に関わる人にとって誇らしいことで、今後の活動への励みになります。これも全て、約770年もの間、風流を守り続けてきてくれた先人たちのおかげです。私たちはこの意思を継ぎ、後世まで風流・節頭を絶やしてはいけないと改めて強く感じました。最近では、経験者が大人になるにつれて市外に出ていくことも多く、後継者の減少が心配されます。国の指定を受けたからといって私たちの活動が変わるわけではありませんが、荒尾に高い評価を受ける民俗芸能があることを知ってもらい、見て興味をもってもらうきっかけになればと思います。



▲八幡小の風流・節頭学習で児童に笛の吹き方を教える風流節頭保存会の会員



1_野原地区の風流。稚児の青色の袴が特徴 2_川登地区の風流。稚児の紫色の袴が特徴 3_菰屋地区の風流。稚児の黄色の袴が特徴 4_稚児の周りで笛を吹く大人たち。稚児の経験者だけでなく、大人になってから風流を始める人もいます



野原八幡宮風流が 国重要無形民俗文化財に指定されました

民俗芸能「風流」

野原八幡宮風流は、菰屋野原・川登の3地区にそれぞれ伝わる民俗芸能です。毎年10月15日に行われる野原八幡宮の祭礼「のぼらさん」では、「節頭行事」と併せて奉納されています。風流は悪魔祓いを起源としており、口伝でそれぞれ伝わっているため、地区により衣装や舞いにもそれぞれ少しずつ違いがあります。当日は獅子頭に見立てた笠をつけた2人の稚児が、歌や笛に合わせて小太鼓と大太鼓を打ちつつ踊ります。2人はそれぞれ6年間太鼓役を務めたあと、師匠となって、新しい太鼓役の稚児を指導します。

例年、稚児を務める子どもたちは、本番の1週間ほど前から太鼓や踊りの練習をしており、頭に被るための笠づくりは笠切と称して、各地区で毎年作成します。

ど前から太鼓や踊りの練習をしており、頭に被るための笠づくりは笠切と称して、各地区で毎年作成します。

国重要無形民俗文化財へ

風流はこれまで、国選無形民俗文化財(記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財)及び熊本県指定重要無形民俗文化財でしたが、令和元年から令和2年にかけて、野原八幡宮風流保存調査委員会が調査・執筆した報告書「野原八幡宮風流」をもとに国文化審議会が審議し、1月15日に国指定の答申を受け、官報告示日の3月11日(木)をもって、国指定重要無形民俗文化財となりました(熊本県内では5件目)。

荒尾の風流は、福岡県南部から熊本県北部にかけて

●県内の国重要無形民俗文化財

	文化財名	所在市町村	国指定日	ユネスコ登録
1	阿蘇の農耕祭事	阿蘇市	S 57.1.14	
2	菊池の松囃子	菊池市	H 10.12.16	
3	八代妙見祭の神幸行事	八代市	H 23.3.9	「山・鉦・屋台行事」
4	球磨神楽	人吉市・球磨郡	H 25.3.12	
5	野原八幡宮風流	荒尾市	R 3.3.11	「風流踊」提案中

ユネスコ無形文化遺産の候補に

2月12日に開催された国文化審議会無形文化遺産部会において、ユネスコ無形文化遺産の提案候補である「風流踊」41件の中に野原八幡宮風流が追加で選定され、3月3日の国無形文化遺産保護条約省庁連絡会議にお

分布する同じ種類(風流)の芸能の移り変わりの過程や地域的特色を示しており、稚児のしぐさの古風さや趣向を凝らした出で立ち、笠など、風流の芸能の特色を顕著に示すところが国に評価されました。

いて、ユネスコへの再提案が決定しました(現時点での日本の登録件数は22件)。

昨年の風流は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、やむなく中止するという判断が下されました。全国でも多くの民俗芸能が中止・延期をしたり、規模を縮小して奉納するなど、波乱な年となりました。そのような暗いニュースが多い中で、地域の人々が大切に守り伝えられてきた風流が大きく評価されることとなり、市にとっても明るい話題となりました。

風流の歴史がここに

「野原八幡宮風流」報告書
限定300部を好評頒布中!
●頒布場所 文化企画課世界遺産・文化交流室
●価格 2,000円

